

令和8年（2026年）2月16日
企画財政課

令和8年度（2026年度）当初予算に係る意見募集結果
修正版

実施期間	令和7年（2025年）11月26日～12月26日		
実施方法	ホームページへの掲載により周知 意見の募集は、ながの電子申請及びメール・書面		
募集対象者	(1) 市内に住所を有する者 (2) 市内の事務所又は事業所に勤務する者 (3) 市内に事業所又は事務所を有する個人及び法人その他団体 (4) 市内の学校に在学する者		
実提出意見数	111件		
意見数	103件（同一意見整理）		R7：82件
意見提出者数	25者		R7：23者
新年度反映件数	21件（一覧の中の赤字件数）		R7：11件

◇予算要求内容に対する意見・提案への対応

令和8年度（2026年度）反映件数 ： 21

No.	ご意見・ご要望	対応案
1	ところどころ住宅があるにも関わらず除雪がされず、特定の家が雪を道に出してしまう市道の除雪について	ご指摘の市道は、幅員が2.8mと狭く、かつ急勾配の坂道であるため、機械による除雪作業が困難な路線となっており、ハンドロータリによる除雪業務を委託している路線（4ブロック43-3工区）です。また、特定の家が雪を市道に出す行為については、引き続き注意喚起（指導）をしていきます。
2	鳥獣対策に係るワナ購入について、購入希望による一括発注や購入補助の導入について	有害鳥獣駆除を担う猟友会員の皆様には、市所有の箱罟の貸し出しや、破損したくくり罟の無償交換を実施しています。また、中山間地域等直接支払制度の交付金も罟の購入費に充てることが可能です。ただし、使用禁止の罟があるため、購入前に必ず市へご相談ください。
3	空家にしない学習会の開催	令和5年度（2023年度）より「お家の終活セミナー」&相談会を毎年実施しており、 令和8年度（2026年度）から各地区区長会と連携し、地域ごとにセミナーを開催します。 また、司法書士による無料法律相談会（会場 飯山市福祉センター）を年6回開催（偶数月に1回第1土曜日）しているので広報等情報を発信していきたいと考えております。
4	公共施設への生理用品設置	令和8年度（2026年度）から市庁舎トイレへ備えていきます。
5	陣痛救急車の設置	飯山市では出産に伴う移動に関して、タクシー料金や遠方の分娩施設で出産する必要のある妊婦を対象とした宿泊費の助成を実施しています。また、岳北消防本部では妊婦の出産時に他に交通手段が利用できない時や緊急時など万が一の場合には救急車による搬送の対応が可能な体制を整えておりますので、現状でご理解をいただきたいと思います。
6	国スポへのシャトルバス活用	各競技会場までのアクセス向上は、運営側としても重要な課題と認識しており、皆様が安全かつ快適にご来場いただけるよう、関係各所と連携を取りながら、シャトルバス運行の実現について慎重に検討を重ねていきます。
7	春秋市内観光バスめぐりの実施	市内観光バスめぐりの実施については、そのニーズが実際のどの程度あるか把握できておりません。現在、市では「いいやま相乗りタクシー」と「いいやまライドシェア」の実証実験を行っており、この2つの制度を今後活用していくことを検討しているところであり、その状況を見て判断していきたいと考えます。
8	秋津地区遊水地説明会の実施	蓮遊水地整備については、蓮区を中心に国から事業進捗を随時説明するとともに、地権者の皆様との協議が進められています。蓮遊水地を含む緊急治水対策プロジェクト事業全般については、これまでどおり市報等でお知らせするとともに、工事の進捗についても順次広報していきます。
9	クマ対策として千曲川岸辺除草の継続	本年度秋に千曲川河川敷の一部除草を千曲川河川事務所で実施していただきました。クマ対策として有効な河川敷の除草・樹木伐採については、今後も引き続き実施されるよう要望していきます。

◇予算要求内容に対する意見・提案への対応

令和8年度（2026年度）反映件数 ： 21

No.	ご意見・ご要望	対応案
10	「飯山農業未来プロジェクト」の提案（地域おこし協力隊での農業従事者の雇用等）	市では農業者の減少対策として、若手就農希望者が農業技術等を習得できる「農業研修センター」を平成29年度より開設し、研修生の受け入れを行っております。現在、同センターの研修を終えた6名の若手農業者が、市内各地域の担い手として営農活動を展開しています。 なお、同研修センターでは、研修生が卒業後に地域の担い手として円滑に営農活動が進められるよう、就農地区の選定に際し、地区関係者との事前のマッチングを実施しています。あわせて、新規就農者の設備投資に係る経費への交付金制度等により、地域の担い手農家として定着できるようバックアップを行うことにより、各地域の若手農業者の育成を図っています。
11	クマ・イノシシ・シカ対策 ①被害を受けた農家等への救済措置 ②わな購入補助 ③わな猟や銃の資格取得費用補助	イノシシ等の掘り起こし被害を受けた水路や農道の復旧には、市単独事業による支援を検討してまいります。 有害鳥獣駆除を担う猟友会員の皆様には、市所有の箱罟の貸し出しや、破損したくくり罟の無償交換を実施しています。 また、中山間地域等直接支払制度の交付金も罟の購入費に充てることが可能です。ただし、使用禁止の罟があるため、購入前に必ず市へご相談ください。 なお、銃免許の取得費用については、県猟友会による補助制度が利用できます。
12	既存施設の公民館的利用	青少年ホームについては、青少年関係の利用が少なくなっているため、他の団体にも会議等で貸出ができるよう規則の改正を進めております。
13	消火栓の点検・維持管理（塗装補修）	消火栓の日常管理については基本的に消防団にお願いしています。塗装に必要な消火栓がある場合は、消防団本部で塗料など一式を用意し、分団で塗装を行います。集落などで塗装等が必要と思われる消火栓等がありましたら地域の消防団員にお声がけください。
14	子どもたちのスポーツクラブへの補助金増	現在、スポーツ少年団へ登録のある競技団体につきましては、スポーツ施設の使用料を減免しております。また、学校施設の利用につきましては、使用料、照明料ともかかっておりません。補助制度はありませんが、使用料などにより支援させていただいておりますことをご理解をお願いします。
15	空家対策として雪捨場への活用	ご提案のありました空き家の活用につきましては、土地・建物はいずれも所有者の私有財産であることから、管理や今後の利活用、除却等については、原則として所有者においてご判断いただくこととなります。市としましては、安心・安全で良好な生活環境を確保する観点から、所有者からの相談に丁寧に応じながら、空き家対策の一環として今後の参考とさせていただきます。
16	愛宕町エリアの遊歩道等整備	地元「愛宕寺町つくろう会」の皆様と引き続き寺まちづくりを推進してまいります。
17	えびす講でのクラフトイベントの実施、大阪市へのクラフト作品出展	えびす講におけるクラフト祭りの開催につきましては、商工会議所と情報共有しながら検討してまいります。大阪市へのクラフト作品出展につきましては、随時募集しておりますのでご検討をお願いいたします。 https://www.city.iiyama.nagano.jp/soshiki/shoukou/kankou/news/syuttensya_bosyu

◇予算要求内容に対する意見・提案への対応

令和8年度（2026年度）反映件数 ： 21

No.	ご意見・ご要望	対応案
18	賃上げによる中小企業への支援	小規模事業者が販路開拓に取り組むための経費に対する「小規模事業者持続化補助金」という国の支援制度のほか、県や市においては有利な融資制度を用意しております。また市では、中小企業への新たな支援として、 令和8年度（2026年度）予算において新技術開発や新商品開発に対する補助事業に係る予算を産業新技術・新製品開発事業に計上いたしました のでお問い合わせください。
19	農業委員会等の職員体制の強化	引き続き必要最小限の人員で最大限の効果が図れるよう、人件費の抑制に努めるとともに、職員の弾力的な配置に留意して効率的かつ持続的な組織の実現を図ってまいります。
20	遊休荒廃農地対策事業補助金の拡充	遊休農地の解消や発生防止は、担い手支援と鳥獣被害対策の両面で重要であると農業委員会から要望がありました。そのため、 上限面積を引き上げ（10アールから20アールへ）、予算額を96万円から204万円に増額して計上し、制度の拡充を図りました。
21	生分解性マルチや苗代補助といった市独自補助制度の継続	市内農業者の経営安定に向け、既存の補助事業に加え、 農業機械の更新等支援補助金として合計4,450万円を、その他新品目や新技術導入に挑む意欲的な担い手への新たな支援として500万円を令和8年度（2026年度）当初予算に計上いたしました。
22	渇水対策の強化	今年度の渇水対策では、国・市所有ポンプの仮設や市給水車による配水、ポンプ借上げ費用などの支援を行いました。今後は、民間の給水車も活用し、稲作・畑作ともに被害を最小限に抑えられるよう体制を強化してまいります。
23	第8回脱炭素先行地域募集への応募	脱炭素先行地域への応募には、新たな先進性・モデル性の打ち出しが求められています。ご提案の木質バイオマスCHP事業は、既に他自治体で採択された先行例があるため、同様のモデルでの採択の可能性は極めて低いと考えます。 また、ご指摘のとおり、事業化にあたっては採算性の検討に加え、原材料となる木材を安定的に供給するための森林所有者の特定や搬出路の確保など解決すべき課題があり、現時点での事業化は難しいと考えております。 いただきましたご提案は、今後の脱炭素化を推進する上で、貴重なご意見として参考にさせていただきます。
24	荒廃地防止と担い手への農地集約のため、農業者の費用負担や同意を求めない基盤整備の実施	各地区の農業再生センターでは、農地の区画整理や水路改修の要望を受け、学習会や視察を行っています。引き続き関係者と連携し、最適な事業の導入を検討してまいります。
25	補聴器助成制度の拡充	飯山市では令和5年度（2023年度）から、軽度・中等度難聴の方へ向けた市独自の補聴器購入助成を行っております。一方で、製品の高額化により「助成が不十分」との声があることや、他市町村との補助額の違いについては課題であると承知しています。 今後は、身体障害者手帳所持者への助成制度とのバランスや、最新の補聴器の機能などを踏まえ、助成金額の引き上げ等を含めた制度の見直しを研究してまいります。あわせて、この問題は全国共通の課題であることから、国や県に対しても、統一的な支援制度の確立を継続して求めていく方針です。

◇予算要求内容に対する意見・提案への対応

令和8年度（2026年度）反映件数 ： 21

No.	ご意見・ご要望	対応案
26	日常生活に関わる多岐な問題に対処する相談・サポートの拡充	身寄りのない高齢者の支援については国でも拡充の方向で進められています。市では現在、地域包括支援センターを中心に相談受付、助言等を行っておりますが、国の動きを注視しつつ、今後、市としてどのような支援が可能か検討してまいりたいと考えます。
27	中野市への路線バス再編について（昼間運行の継続）	飯山から中野まで運行しているバスは、中野木島線と合庁線がございますが、中野から飯山を結ぶ日中の運行がなくなることはないような再編を求めているところです。
28	飯山に希望を持って住める取組を	人口減少が進む今、飯山市が独立して完結するのではなく、近隣市町村や民間企業、そして市民の皆様と「手を取り合う」広域的な視点は、持続可能なまちづくりに不可欠です。 新年度予算案においては、単なる維持に留まらず、飯山の豊かな自然や文化を活かした「稼ぐ力」の強化や、子育て世代が「ここに住み続けたい」と思える教育・福祉の充実にも重点を置くよう努めてまいります。飯山に住むことに誇りと希望を持てる未来を創る予算になるよう努めてまいります。
29	ワークショップ等の開催による、地域防災力の向上や里山整備の推進	森林整備や木材活用のワークショップを通じ、森林への関心を高める取り組みへの支援として30万円を協働のもりづくり事業へ予算計上しました。
30	空家バンクの問い合わせ対応等、定住へのサポート改善	移住定住推進課で空き家バンクの物件を案内する際は、仲介業者に注意事項を確認のうえ、重要な情報についてお伝えするように努めております。 市では、特定の世代に焦点を当てることなく「当市に愛着を持ち定住し続けていただける方」に移住して頂きたいと考えております。 令和元年度（2019年度）以降に開催している移住セミナーでは、20代から50代の移住された方に講師を依頼しており、現役の地域おこし協力隊の方にも依頼したこともあります。 今後も移住された方々に寄り添った対応を心がけてまいります。
31	空き家持ち主への働きかけ強化	市では、「空家等対策の推進に関する特別措置法」及び市条例に基づき、空き家対策に取り組んでいます。具体的には、「飯山市空家等対策計画」により、毎年7月に各区長の皆様へ、空き家と思われる家屋の情報提供をお願いしており、市民の方から寄せられる情報も併せて、職員が現地確認や調査を行っています。調査後は、所有者へアンケートを送付し、適切な管理や今後の意向について相談対応を行っています。管理が行われていない空き家については、助言・指導を行い、改善が見られない場合には、法令に基づき必要な措置を講じ、問題解決に努めています。
32	小学校の時間割の改善	現在国では、次期学習指導要領の改訂に併せて、教育課程の柔軟化についても議論されています。国の動向を注視しながら、単位授業時間の柔軟な取組も必要であると捉えていますので、今後、給食も含め時間割について検討を進めていくところです。
33	農薬の被害について学ぶとともに教育の場を	市では、農薬散布時における目的場所以外への飛散（農薬ドリフト）を防止するため、令和7年（2025年）7月に注意喚起チラシの全戸配布を行いました。 農薬の適正使用は、生活環境の保全に極めて重要ですので、引き続きＪＡ・県等と連携し、適正な農薬使用の徹底を促す啓発・注意喚起を行い、農業の振興と生活環境が調和した地域づくりに努めてまいります。

◇予算要求内容に対する意見・提案への対応

令和8年度（2026年度）反映件数 ： 21

No.	ご意見・ご要望	対応案
34	3歳以下の保育料無償化、保育園のおやつについて、小中学校給食費の無償化、高校でも給食を	<p>・3歳以下の保育料無償化 ⇒飯山市はきょうだいの年齢にかかわらず保護者と生計を一にする兄弟から順に子の人数をカウントすることで、国の第2子半額、第3子以降無料の対象児童の範囲を拡大しております。今後も国や他自治体の動向にも注視しながら子育て世帯への支援を考えてまいりますので現状でご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>・保育園のおやつに甘いものを出さないでほしい ⇒保育園のおやつは補食という観点からおにぎり（月2回程度）やおせんべい、手作りのおやつ等を中心に提供していますが、子どもの「お楽しみ」の気持ちを尊重し、時々市販のクッキーも提供しています。おやつの提供内容については、毎月の献立と併せて決めています。献立会議の際にいただいたご意見を共有し、今後の検討課題といたします。</p> <p>・年齢ごとの給食メニューの変更について ⇒メニューの中で未満児にとって食べにくい硬さの食材（メニュー）は内容を変更し提供しております。3歳以上児と3歳未満児で完全にメニューを変えることは難しいですが、現在の体制でできる範囲で対応をしております。</p>
35	ママヘルプを有償ボランティアから仕事へ	<p>産後ママヘルプ事業は市社会福祉協議会が運営している「スマイルとうど」（有償在宅福祉サービス）の一環として実施しているため、仕事として対応することは困難なことから現状でご理解いただきたいと考えております。</p> <p>しかし、ご尽力いただいている支援員の報酬分の委託料につきましては、現行の1時間1,000円から1,100円へ増額する予算を計上いたしました。</p>
36	ママヘルプの資格取得受講料の無料化	<p>支援員の資格取得には、飯山市公民館で実施している保育サービス講習会を受講していただいています。この講習会では、テキスト代・調理実習代等の実費を受講料としております。公民館で実施する他の講座でも実費分は参加者負担となっているため、現状でご理解をお願いしたいと考えます。</p>
37	子ども食堂の充実	<p>こども食堂については、 ①現在、他団体から交付金・助成金を受けており、飯山市が補助金を出すとそれらが対象外になる可能性があります。 ②ボランティア有志による運営のため、バイキング形式への移行には食材や人手が不足していると伺っています。 ③現状、お弁当配布時に50～70名の利用者がおり、多くの方々にご利用いただいております。</p>
38	公園の増加	<p>公園利用者のニーズを把握し適正な配置に努めてまいります。また、屋内型公園についてご提案いただいているような施設を参考に研究していきます。</p>
39	女性センター未来の有効活用	<p>女性センター未来は、女性労働者の福祉の増進や地位の向上を図るために平成3年に働く婦人の家として開館しました。施設本来の趣旨の講座の要望や、ご相談等がない状況が続いているため、令和8年度（2026年度）からは公民館の一部として活用できるよう条例の改正を進めております。</p>
40	産休手当の主婦への支給	<p>現状、妊娠・出産に伴う妊婦支援給付金や出産特別給付金、産後ケアやママヘルプ事業等の支援を実施しておりますので、現状でご理解をお願いします。</p>

◇予算要求内容に対する意見・提案への対応

令和8年度（2026年度）反映件数 ： 21

No.	ご意見・ご要望	対応案
41	保育士の待遇改善（賃上げ・雇用年齢制限の撤廃）	公立保育園の職員給与は、国家公務員の取扱いに準拠することを基本としており、会計年度任用職員の給与についても処遇改善を進めているところです。 なお、私立保育園においても、人事院勧告を踏まえた公定価格の見直しが行われ、保育士の処遇改善が図られています。 また、職員採用試験における年齢制限は、職員の人員配置や年齢構成に鑑みて設定していますので、ご理解ください。
42	三世代家族向け補助金の条件緩和	飯山市三世代等同居住宅建設支援事業補助金は、市内への若い世代の定住を促進し、子育てや高齢者介護など世代間で支え合う暮らしの維持を目的とした制度です。親・子・孫の三世代、または親と子夫婦の同居や近居を要件に、基本額30万円を交付し、一定の条件を満たす場合には加算があります。ご意見のとおり、近年の住宅事情や家族形態の変化を踏まえ、制度がより利用しやすいものとなるよう、今後も内容について研究してまいります。
43	介護福祉士の待遇改善	国は介護人材定着のための緊急的対応として、令和8年度(2026年度)の臨時改定として介護報酬の2.03%引き上げによる賃上げ対応支援を予定しています。引き上げ対象は介護職、訪問看護やケアマネ、訪問リハビリなどを含んだ介護従事者全般を予定していますのでご理解ください。
44	熊・害獣被害対策と地域振興の両立を	現在、市ではイノシシ等の有害野生鳥獣の駆除を行う猟友会員の方に対し、必要に応じ市所有の箱罠の貸し出しを行ったり、くくり罠が破損した場合、新品との無償交換を行っています。 また、猟友会員の支援についても猟友会の意見を聞きながら検討してまいります。 なお、野生鳥獣対策を地域産業の活性化に向けたどのような支援ができるのか研究してまいります。
45	ライトダウンスターウォッチングの推進	令和8年度（2026年度）予算において、星空観光をはじめとするニューツーリズムの受入体制整備を目的とした「ニューツーリズム普及促進事業」の実施に係る予算を計上しました。 ご提案の星空に影響の少ないLEDの普及につきましては担当部署と連携し、研究してまいります。
46	市民意見集約手法の見直し	市では、匿名性による大量の意見投稿や、市に直接関係のない内容への対応、さらに意見への対応や管理に伴う職員のマンパワー不足といった懸念や課題があることから、SNSではなく「ながの電子申請サービス」を通じて意見を収集しています。しかし、意見聴取の方法やその周知については改善の余地がある点を認識しております。ご提案を参考に、意見分析におけるAI技術の活用を含め、若者が目に触れる場所に意見聴取用QRコードを掲示する方法などを検討し、幅広い市民の声を集約する環境整備に努めてまいります。
47	地域の声をつなぐ新たな意見集約の仕組み	地域で活躍する方々に意見集約の役割を委託する仕組みは、住民や当該案件に深く関わる関係者との連携を強化する新しい視点であると考えます。ご提案を参考にしながら、課題、有効な案件、期待される効果などを踏まえて研究していきたいと考えます。
48	学校設備の充実	城北小学校の遊具に関しては、体育等教育課程を行う中で必要な鉄棒・雲梯の設置に係る費用を令和8年度（2026年度）当初予算に計上しました。

◇予算要求内容に対する意見・提案への対応

令和8年度（2026年度）反映件数 ： 21

No.	ご意見・ご要望	対応案
49	部活動・アフタースクールの支援拡充	部活動指導員、アフタースクールの取組、いずれの事業もしっかり予算を確保し進めてまいります。
50	運転手不足や早い運行開始時間といったスクールバス問題	スクールバス登校に関しては、4月の仮校舎への登校、9月からの新校舎への登校等へのご対応ありがとうございました。引き続き、子ども・保護者からの意見を伺いながら、安全な登下校に努めてまいります。
51	ファミリーサポートセンターの周知拡大と利用促進	ファミリーサポートセンターの利用促進に向け、 SNS等を活用した周知を強化してまいります 。支援者の報酬体系の拡充については、他自治体の事例を調査し、導入の可能性を検討してまいります。
52	空き家問題と住み替えの促進	平成20年（2008年）から「空き家情報登録制度要綱」を制定し、空き家バンク制度により空き家の売買や賃貸など流通促進に取り組んでまいりました。高齢化の進行に伴い、相続を契機に空き家の増加が見込まれることから、今後も関係機関と連携したセミナー等による情報提供を行いながら空き家バンクへの登録促進を図るとともに、利活用や売却、相続に関する相談に丁寧に対応してまいります。
53	飯山駅周辺の施設整備	新幹線飯山駅東側の市有地は、駅前ホテル建設に関わる裁判中の状況です。北東の市有地2筆につきましては現在、商業施設の誘致を進めているところです。 市営のホテルや商業施設の建設は現在計画しておりませんが、引き続き民間事業者による土地の活用を推進し、新幹線飯山駅周辺のにぎわい創出、拠点としての魅力向上を目指し、必要な対応策を検討しながら進めてまいりたいと考えております。
54	エンディングノートの普及	エンディングノートの配布は、70歳を迎えた高齢者に今後の人生計画を考えていただく取り組みとして、今年度より始めました。ノートの配布自体は希望される他の高齢者にも在庫の範囲内で行っており、必要に応じて増刷等を行いながら対応したいと考えます。 また、ホームページ上からのダウンロードにつきましては権利関係もございますので、今後検討とさせていただきますと思います。
55	単身者向け住宅の不足	現在、新たに単身者向け住宅を建設する予定はありませんが、市内の民間アパートにおける単身者向け物件の状況や、住まいに関するご希望・ニーズについて、引き続き把握に努めてまいります。そのうえで、単身で移住される方やひとり親世帯の方が安心して暮らせる住まいの確保について、民間事業者との連携も含め、必要な整備のあり方について研究してまいります。 また、市営住宅につきましては、法律で定められたルールの中での運用となりますが、できる限り利用される方の立場に寄り添い、柔軟な対応ができるよう工夫してまいりたいと考えています。
56	スキー場リフト券の市民優遇制度の拡充	現行の市民リフト1日券引換券につきましては飯山市索道協会に協力を仰ぎ、リフト代金の一部を市が補助する形で実施しております。 ご提案の市民優遇制度の拡充につきましては、飯山市索道協会などのご意見を伺いながら研究してまいります。

◇予算要求内容に対する意見・提案への対応

令和8年度（2026年度）反映件数 ： 21

No.	ご意見・ご要望	対応案
57	世代交代（市議）のための若手人材への働きかけ	被選挙権にかかる資料を作成し、主権者教育・広報・啓発の一環として若い世代への働きかけを実施していきたいと考えます。
58	実践的な防災関係講習会の開催	市では出前講座を実施しており、講座のメニューとして「もしもための防災講座」があります。講座内容についてご相談いただければ、できる限りご要望に沿った講座を行わせていただきますのでご利用ください。また、令和6年度(2024年度)から市防災訓練の内容を変更し、住民参加による避難所の開設訓練（簡易トイレ、パーテーション、簡易ベットの設営など）を行っています。1年に1地区、順番で開催していますので、その地区の皆さんには積極的ご参加いただくようお願いいたします。
59	地域おこし協力隊への退職自衛官へのアプローチ、地域おこし協力隊のような仕事をする市民の登用	現在、就農を目指して活動している隊員の中には、前職が自衛官だった方もおります。いただいたご意見を踏まえ、募集対象として自衛官にアプローチすることを検討していきたいと考えます。
60	太陽光発電導入に伴う危険性の研究対策	将来にわたり飯山市の市土保全（里山保全）のため、再生可能エネルギー施設等の設置にあたり、環境や景観の保全、災害時の安全確保、設備撤去時の現状回復のための担保などを目的とした飯山市独自の制度設計創設に向けた取り組みを実施するため、費用を令和8年度（2026年度）当初予算に計上しました。
61	空き家を利用した移住体験、空き家相談会等での情報周知	市内の空き家を活用した移住・定住の促進については、取得や改修による活用も一つの手法と考えられますが、建物の状態や改修費、維持管理体制などを総合的に考慮する必要があります。今後、市内建設業者と意見交換を行い、課題の実情や整理を進めてまいります。市では、平成20年（2008年）から空き家バンク制度を運用し、売買や賃貸による空き家の有効活用を進めており、農地が付随する物件についても、農地法を踏まえ、所有者や関係機関と丁寧な相談対応に努めております。また、空き家の発生を未然に防ぐため、令和5年度（2023年度）から「お家の終活セミナー」を開催し、相続や法律面の注意点について情報提供と相談対応を行っております。水源や山林に関するご不安についても重要な課題と受け止め、今後、関係部署と連携し、相談会や広報等での情報提供の充実を図ってまいります。
62	スポーツをする子どもたちへの支援増加	教職員の働き方改革に伴い、国では中学生の部活動を地域クラブへと移行を進めており、市でも令和8年度（2026年度）中に休日部活動について地域クラブへ移行することを目指して取り組んでおります。移行にあたり、要保護・準要保護世帯への金銭的支援、生徒の移手段への支援の実施など、多くの生徒がスポーツに取り組む場を失うことの無いよう環境を整えていきたいと考えております。
63	廃校舎（4校）の利活用	旧4小学校の利活用については、今後、旧4小学校利活用ビジョン検討市民会議を設置し、旧4小学校において、活用や受け入れるべき業種や業態、そして地域との調和を重視し、持続的発展に寄与するために利活用ビジョンを検討していく予定です。

◇予算要求内容に対する意見・提案への対応

令和8年度（2026年度）反映件数 ： 21

No.	ご意見・ご要望	対応案
64	市民ライター養成講座の実施	市民ライターに関して、他自治体でも取り組んでいる事例があり、実施する方向で検討してまいります。
65	必要に応じた通園バスの配車	通園バスは、保護者一人ひとりの意向を確認し運行を判断しており、運行の要望があれば柔軟に検討いたします。利用者減少や運転手不足等を踏まえ、今後のバスのあり方は関係者と協議し慎重に検討してまいります。
66	不登校児童生徒支援事業（事業周知及び民間事業者への補助実施）	不登校児童生徒支援事業については、各学校と連携を密に図るほか、直営にて教育支援センターを運営しています。また、民間のフリースクールへの登校も学校と連携を取り、出席扱いとしています。事業所への補助等については、広域の枠組みのなかで検討したいと考えます。
67	医師招へい事業の増額	現在、新規医師奨学生の募集を見合わせているため予算上では減額となっております。研修中や貸与中の奨学生の動向や見通しを注視しながら今後の事業計画を検討したいと考えておりますが、引き続き医師確保に向け取り組んでいきます。
68	検診後の特定保健指導即日対応	令和7年度（2025年度）より健診直後の保健指導として保健師・管理栄養士による高血圧等の指導を実施しております。 令和8年度（2026年度）からは特定保健指導も健診日当日に実施します。
69	配食サービスの拡充	配食サービスは社会福祉協議会が月1回実施しているものに加え、市も週3回の配食を実施していますので、現状でご理解ください。
70	介護従事資格取得研修の実施	令和7年度（2025年度）は介護に関する入門的研修を実施し、4名の方が受講し修了しました。 令和8年度（2026年度）は介護職員初任者研修を実施していきます。
71	税延滞金率について	延滞金は、地方税法に算定すべき割合が定められ、毎年決定しているものです。市が独自にこの割合を軽減したりすることは考えておりません。市税は、市が行う全施策の根幹となるべき貴重な財源です。納税者の皆様のご理解と、納期内の納付をお願いいたします。
72	森林整備の人材不足に対する支援	状況把握を行い、国県事業も注視しながら、森林整備事業を進めるための支援について研究してまいります。
73	常盤地区活性化センター壁面の修繕	重要度や緊急度など各施設の状況を適切に把握しながら、優先順位をつけて効果的に整備や修繕を実施していきたいと考えています。
74	旧常盤小の管理の継続	令和8年度（2026年度）も引き続き実施していきます。
75	地域おこし協力隊の財源は	地域おこし協力隊事業に計上した経費の全額が、国の地域おこし協力隊推進要綱（平成21年3月31日（総行応第38号）制定）における特別交付税措置の対象となっております。

◇予算要求内容に対する意見・提案への対応

令和8年度（2026年度）反映件数 ： 21

No.	ご意見・ご要望	対応案
76	サイバー攻撃対策、ホームページの最適化	現在、過去に掲載した不要なページについて、精査を実施中です。なお、 ホームページの更新を実施することで、全ページについて精査を実施するとともに、サイバー攻撃に対するセキュリティの向上にもつながるため、更新に係る予算（約2,200万円）をホームページ更新事業に計上しました。
77	消防防災施設整備事業の拡充	令和7年度(2025年度)におきましては、Jアラート機器等の更新（11,100千円）や防火水槽の新設（9,570千円）などにより、一時的に例年と比較し、予算が増額となっています。 市内の防災施設整備は、区から要望があった施設を確認し、緊急性の高いものから限られた予算の中で計画的に整備を行っていますのでご理解いただきますようお願いいたします。
78	避難所への冷房設備対応	国の地域未来交付金（地域防災緊急整備型）制度を活用し、 令和8年度（2026年度）において洪水時の避難所用移動式エアコン20台を整備する経費として、約6,000万円を計上しました。 なお、令和7年度（2025年度）においても国交付金を活用し、避難所（市民体育館）への冷暖房設備の整備を行っています。
79	暑さや渇水に耐える花への変更	花壇付近の地中や地表温度の観測、散水方法の改良、品種改良含む暑さに強い花の植栽など試験的に実施しており、植栽箇所の見直しも含め暑さ対策について引き続き実施してまいります。
80	ふるさと住民登録の実施	総務省の創設した「ふるさと住民登録制度」についての内容を詳細に確認のうえ、区長会協議会とも連携して研究していきたいと考えます。
81	空き家を利用した自給率が高い生活ができるモデルハウスの制作	過疎集落における関係人口や定住者の増加に向け、空き家の利活用については様々な視点から検討していく必要があると認識しております。 市ではこれまで、空き家バンク制度を中心に空き家の流通促進に取り組んでまいりました。 ご提案のありました、自給率の高い生活を体験できるモデルハウスの整備は、事業手法や維持管理、既存施策との整合性などの課題もあることから、市内事業者や関係課と情報共有を行いながら、空き家利活用の一つの可能性として研究してまいります。
82	農薬の規制を	農薬については、各種法令に則り使用が認められているものであり、市独自の制限等に対しては、慎重な判断が必要と認識しています。 なお、農薬の適正使用は、生活環境の保全に極めて重要ですので、引き続きＪＡ・県等と連携し、適正な農薬使用の徹底を促す啓発・注意喚起を行い、農業の振興と生活環境が調和した地域づくりに努めてまいります。

◇予算要求内容に対する意見・提案への対応

令和8年度（2026年度）反映件数 ： 21

No.	ご意見・ご要望	対応案
83	エコワンソーラー導入への補助金	ご提案の「エコワンソーラー」は、太陽光で発電した電気を使い、停電時にも給湯や一部家電製品等の住宅設備の使用を可能にする太陽光発電連動型UPS（無停電電源装置）と認識しております。本市では、ご家庭におけるエネルギー自給率向上やオフグリッド化に繋がる太陽光発電システム、蓄電システム等の設置補助を実施しています。このうち、蓄電池の補助対象は環境省の実施する戸建住宅ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）化等支援事業に登録済みの製品としております。ご家庭での災害への備えといたしましては、本補助金の対象となる蓄電池を太陽光パネルと併せて導入することでも同様の安心を確保することが可能でございますので、こちらの補助金のご活用をご検討いただくと幸いです。
84	畑作等の実施、子どもを育てていくための教育	当市では、日本人の主食であるお米について、学校米づくり事業として、児童が田植え、稲刈り等を体験しながら、食・地域産業等多くのことを学ぶカリキュラムを組んでいます。
85	空き家を生み出さないための対策	空き家の発生を未然に防ぐことは、地域環境の維持や定住促進の観点から重要な課題であると認識しております。市では、空き家バンク制度の運用や、空き家対策係による相談対応を通じ、相続や利活用に関する支援を行っております。今後も、相続手続きや不動産の扱いについて早い段階から考えていただけるよう、関係機関と連携したセミナーや相談会等による情報提供を行い、空き家を生み出さないための取り組みを進めてまいります。
86	春先のほかし作業について	市では、春の残雪処理の対象箇所について「現に土地利用がされており、周辺の自然降雪地と同時期に融雪されないと土地所有者等が不利益を被る農地等」に限定しており、他に要望がある場合は協議として判断しています。引続きパトロール等により必要箇所を精査し、経費削減に努めてまいります。
87	消費税引き下げ及び物価高騰対策	消費税については、税率引き上げによる税収分は全て社会保障の充実・安定化に向けられているということが政府の説明です。しかし、税率が上昇するたびに景気が冷え込むこともあり、地方財政にマイナスの影響がないよう、国政においてしっかり議論していただく必要があると考えております。 また、物価高騰に対する国の重点支援交付金については、令和7年度実施事業及び令和8年度実施事業として現在検討しております。市民生活の負担軽減となるよう対応してまいります。
88	学校給食無償化及び給食の質の維持	令和8年度(2026年度)は、学校給食費の軽減を7割から9割に引き上げる予定です。地産地消についても引続き取り組んでまいります。
89	小中学校・保育園への市独自施策及び条件整備の推進、統合への対応	引続き現場の声を聴きながら条件整備を進めてまいります。また、学校・保育園の統廃合については、財政状況等も鑑みながら、総合教育会議の場などで検討してまいります。

◇予算要求内容に対する意見・提案への対応

令和8年度（2026年度）反映件数 ： 21

No.	ご意見・ご要望	対応案
90	国保税高騰改善のための国への働きかけ、子どもに係る均等割り減免の独自措置	<p>ご要望のありました国民健康保険料（税）の改善・均等割の減免につきましては、令和7年(2025年)12月定例会での同様のご質問に対しお答えさせていただいたとおり、当市では昨年、市長会等を通じ「国民健康保険の公平性確保に向けた国庫負担の拡充について」を要望する取組を行っており、全国市長会より国へ提出され、その実現に向けた要請が行われています。</p> <p>また、子どもに係る均等割減免の独自措置につきましては、現在、国において令和9年度（2027年度）実施を目指した均等割の軽減対象年齢を拡充する方針が示されたことから、市独自の減免措置については予定しておりません。</p>
91	地域包括支援センターの強化、国への財源負担改善の働きかけ	<p>地域包括支援センターの役割が増大する中、市では専門職の更なる確保に向けて採用募集を定期的に行ってきていますが、全国的な介護人材不足の影響もあって確保が進まない状況にあります。ニーズに適切に応えるため、今後も粘り強く人材確保に努めてまいります。</p> <p>また、令和9年度（2027年度）からの次期介護保険事業計画については、来年度から策定作業を開始する予定です。介護保険料の設定にあたっては、被保険者の適切な費用負担と制度の持続可能性を両立できるよう検討を進めます。あわせて、自治体や市民の負担が過重にならないよう、市長会を通じて国に対し国費負担割合の見直しを含む財政措置の拡充を引き続き要望してまいります。</p>
92	農業・観光・商業の振興策の抜本的強化、農林畜産業の総合計画策定及び後継者育成対策	<p>農業・観光・産業の振興のため、各種施策を多方向より検討してまいります。</p> <p>また、令和8年度（2026年度）に（仮称）産業振興条例の制定を予定しており、理念を明確化し、事業者等による新技術導入や新製品開発などを支援するための各種事業を展開していきます。</p>
93	肥料・飼料・燃油・資材高騰対策としての市上乗せ及び直接補填	<p>燃料・肥料などの物価高騰の影響を大きく受ける農業者等に対する支援策について、財源の確保とあわせて引き続き検討してまいります。</p>
94	里山整備による緩衝帯拡大の推進	<p>地元のご理解とご協力をいただきながら、有害鳥獣対策を図るため里山緩衝帯整備の事業を進めてまいります。</p>
95	市道整備・改修及び除雪関係予算の拡充	<p>市道整備・改修は、現地確認により緊急性の高いものから順次対応しております。</p> <p>また、除排雪経費についても降雪状況を踏まえ予算を補正するといった対応をしております。</p> <p>今後も限られた財源の中で最大限の効果を発揮するよう努めてまいります。</p>

◇予算要求内容に対する意見・提案への対応

令和8年度（2026年度）反映件数 ： 21

No.	ご意見・ご要望	対応案
96	再生可能エネルギー普及の積極的推進、原発再稼働を容認しない姿勢	地球温暖化対策を推進するため、令和8年度（2026年度）予算において、市内河川での小水力発電ポテンシャル調査を継続して実施するための経費を計上しているほか、一般家庭への再生可能エネルギーの普及促進を図るため、引き続き太陽光発電システム、蓄電システムの設置補助を実施してまいりたいと考えております。こうした取組を通じ、原子力発電に依存しないエネルギー政策を推進していきたいと考えます。 また、当市は柏崎刈羽原発から直線距離でおよそ67kmほどの距離にあり、原発再稼働については、令和6年12月の市議会定例会でお話ししたとおり容認できるものではありません。しかし一方で、万が一に備えた対策の準備を進める必要もあり、防災・減災対策の推進を図っていきます。
97	災害対策・避難計画などの再点検と改善	令和7年(2025年)12月に協定締結した東京大学生産技術研究所により飯山市をフィールドに洪水対策について研究が行われ、この研究により飯山市の洪水対策の課題が見えてくることが想定されるますので、改善に繋がりたいと考えます。 また、城北小学校が開校したことによる、避難計画の見直しを検討します。
98	全ての施策へジェンダー平等の視点を位置づけ	市の施策において男女共同参画・ジェンダー平等の視点を生かしていくことは、大変重要であると認識しており、従来からの職員の人権講座受講等に加え、ジェンダーバイアス解消のための職員研修などを通じ、第5次男女共同参画計画の趣旨を施策に浸透させるよう努めてまいります。
99	学校給食のオーガニック化	オーガニック給食に関しては、給食提供者としても、適正な価格でJAS認定を取得した農産物を仕入れられるのであれば、実施したいと考えています。 なお、中学校に関しては、特別栽培米を昨年度は1週間、今年度は1か月間使用し、生徒に提供しました。
100	学校内での捕食の導入	補食に関しては、日課を変更できないか、給食を現在より早い時間で提供できないか等、検討をしておりますが、現状でご理解ください。引続き他市の先進事例等の情報を収集したい。
101	有機農業の推進	当市の有機農業や有機給食に対する取組方針については、生産者代表等による「飯山市農林畜産業ビジョン策定会議」において、その有効性や実行性等について議論し、検討してまいります。
102	通年利用できるジャンプ台への改修	飯山市議会11月臨時会に提案を行った市営飯山シャンツェのノーマルヒルジャンプ台改修のうちランディングバーン等の人工芝化は、整備後の経費的負担や、施設の後利用に関する検討が不十分であるとして否決されておりますが、市では人工芝化は必要な改修であるとの考えに変わりございません。これまでのご意見等を踏まえ、人工芝化にご理解いただけるよう、今後に対応してまいりたいと考えています。
103	非核平和都市等、都市宣言を示すものの建立	非核平和都市宣言の看板設置は、市の財政状況にも留意する必要があると考えています。ご提案を受け、早速、市ホームページ内に都市宣言のページを作成しましたので、 まずはホームページにて情報発信を行います。